

第4学年 社会科 学習構想案

日 時 令和7年7月9日（水）第5校時
場 所 4年1組教室
指導者 講師 山田 隼也

1 単元構想

単元名	自然災害から人々を守る活動「自然災害から命を守る」（日本文教出版 p 88～89）		
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
自然災害に対して地域の関係機関や人々が協力をして対処してきたことや、想定される災害に対する備えについて理解し、地域で起こりうる災害に対して必要な備えについて考えられる児童。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
風水害をはじめとする自然災害から命を守るための活動には、どのようなものがあるのだろうか。		過去に発生した球磨村の風水害や、関係機関の協力などに着目して、どのように自然災害から命を守っていくのかについての内容と関連付けること。	

2 本時の学習

(1) 目標 災害発生時に、どのような関係機関が被災地で活躍するのかについて理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	1 前時の自然災害から命を守る施設について振り返りをする。 2 本時のめあてをつかむ。	○命を守る施設について振り返り、本時の学習課題のための「問い」の前提にする。 ○めあての提示後、自衛隊の写真モデルケースとして示し、「どのような人がいるか」「何をしているか」を確認する。
【めあて】 写真の内容から、わかったことを出し合おう。			
展開	30分	1 課題の解決に向けて活動する。 ①消防団・警察の写真を見せながら、災害時に各団体がどのような取組をしているか考える。 (共通実践事項1) ②友達と意見を交流し合う。 (共通実践事項2) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【期待される学びの姿】 多様な関係機関が災害後に関わっていることに気付いている。 </div> ③クラス全体で共有し、学習課題に対して分かったことをまとめる。	○活動の時は、資料の読み取り方を自衛隊の写真資料をもとに方法を提示し、考える手立てを示しておく。 ○消防団や警察が活動している写真を準備しておく。 ○令和7年の豪雨災害時のものから1団体につき、4枚程度スライドに用意し、各生徒のタブレットで見ることができるよう、共有しておく。
【学習課題】 災害が起きたとき、どんな人たちが、どんなことをしてわたしたちを助けるのだろうか。			
【具体の評価規準】 知 ○写真の読み取りを通して、災害時にどのような関係機関が救助に関わるかを理解している。 (方法：ワークシート)			
【到達していない児童への手立て】 ○人に着目できるよう声をかける。			
【まとめ】 いろんな所から来た人たちが、お互いに協力をしながら、私たちを助けてくれる。			
終末	5分	1. 本時の学習を振り返る。 ○ふり返りをノートに記入する。 (共通実践事項3)	○振り返りの視点①

3 指導に当たっての留意点

【視点1】 「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て2：子供が問いをもち、主体的に学ぼうとするための資料提示や課題設定の工夫

○多様な関係機関の資料を掲示し、どのような活動をしているかを一つ一つ関連付けることで、災害時の関係機関についての状況の把握につながるようにする。